

令和5年度第3回佐久医療圏 地域医療構想調整会議	資料 2
令和6年3月7日	

圏域におけるデータ分析について

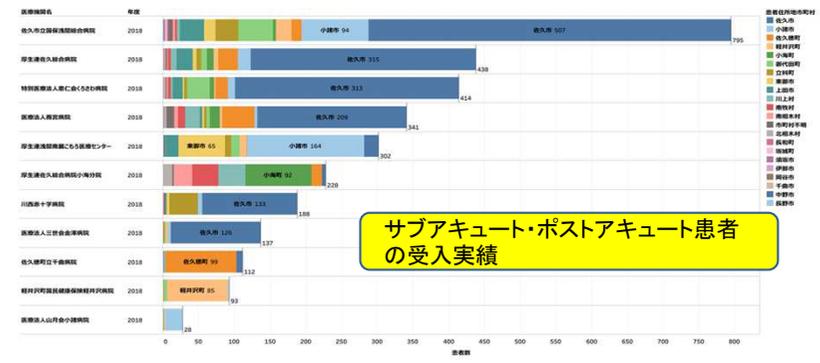
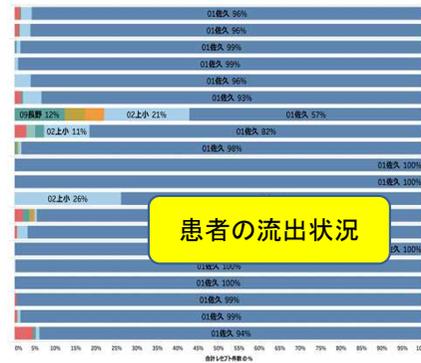
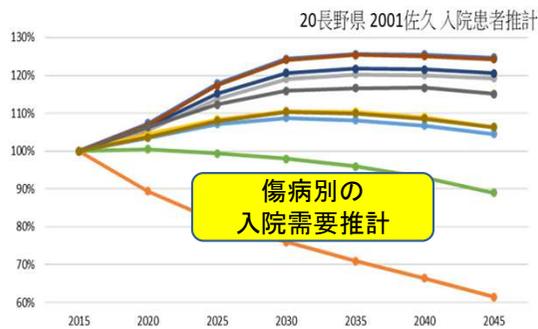
圏域におけるデータ分析について - 構想区域全体の検証に向けて -

- 来年度より構想区域全体の検証(圏域ごとの課題に関する議論)を進めるスケジュールを示したところ。
- 次期医療計画では、新たに医療提供体制の「グランドデザイン」を策定し、県の果たすべき役割として「データ分析」を位置付ける予定。今後、レセプトデータ等を活用し、地域全体や医療機関個別の状況を「見える化」することで、地域医療構想調整会議における議論の活性化を図る。
- なお、全国的にも医療資源が限られている当県においては、更なる役割分担・連携を進めていく必要性があり、構想区域全体の検証(議論)を進めていく上でも、「病床機能」だけでなく、「病院機能」にも着目する形で議論を進めていく必要がある。

これまでに県から提供したレセプトデータ等の分析結果

➤ 外来・入院に係る傷病別の需要推計や、レセプトデータに基づく患者の流出入の動向を分析。

➤ レセプトデータにより各医療機関の外来・回復期・慢性期に関する診療実績を可視化。



【今回ご議論(ご意見)いただきたいこと】

- ① 役割分担・連携に関し、医療圏が抱えている課題として今後議論すべき内容
- ② ①の課題を議論していく上で希望するデータ分析

【参考】令和4年度将来意向調査 — 地域(圏域)の課題と将来あるべき姿について 1/2 — (佐久医療圏)

- 任意回答でお答えいただいた内容は以下のとおり。
- 地域の課題としては、医師の働き方改革への対応(二次救急体制の維持に向けた医師確保)、各医療機関の役割・機能の最適化と連携強化などが挙げられている。
- あるべき姿としては、広大なエリアにおける適切な救急搬送体制が構築されていること、佐久医療センター等の基幹病院に急性期機能を集約し、後方支援病院に早期に転院・退院調整ができる体制が構築されていること、医療機関間の役割分担を推進し、地域住民が安心して暮らせる地域が構築されていることなどが挙げられている。

医療機関名	病診区分	地域(圏域)の課題と将来あるべき姿
厚生連佐久医療センター	病院	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師偏在対策を早期に実行し、医師の働き方改革に伴う医師不足を解消することが必要と考える。 <p>【将来あるべき姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐久医療圏は南北に長く70km以上の距離(所要時間約1時間30分)がある広大なエリアであり、適切な救急搬送体制を構築することが望まれる。
佐久市立国保浅間総合病院	病院	<ul style="list-style-type: none"> ・二次医療、二次救急を維持するための医師確保が最優先課題。地域の基幹病院からの定期的な派遣や医師確保に対する行政の支援が必要
厚生連浅間南麓こもろ医療センター	病院	<ul style="list-style-type: none"> ・小諸市を中心とした浅間南麓地域の二次救急医療を担う医療機関として、急性期から回復期、在宅に至るまで、幅広い医療活動を展開しているが、現状を維持しつつ、高齢化と人口減少に伴う地域ニーズの変化に、いかに対応していくかが大きな課題である。
厚生連佐久総合病院	病院	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の働き方改革の対応を迫られる中、佐久医療圏で1次・2次救急の受け皿となる医療機関の機能が減退しつつある。佐久医療センターなどに集約しトリアージをする中で、緊急入院が必要な患者に対して医療センターで対応し、早期に後方支援病院に転院し退院調整ができる体制が求められる。 ・また重度身体障害者(小児を中心とした)のレスパイトできる医療機関が少ないため当院での受入も検討したい。
軽井沢町立国保軽井沢病院	病院	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療構想を踏まえて各医療機関の役割、機能の最適化と連携の強化を図る必要がある。 <p>【あるべき姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐久地域において中核的な医療を担う佐久医療センター等の基幹病院に急性期機能を集約し、当院においては回復期機能、初期救急等を担うなど、双方の間の役割分担を明確化するとともに、佐久医療圏地域医療構想により、連携を強化する。
佐久穂町立千曲病院	病院	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県厚生連佐久総合病院が機能しないとこの地域全体の医療機能は崩れてしまいますが、医師の働き方改革及び新医師臨床研修制度の現況から体力が落ちて、周辺医療に影響が出始めています。当院としては小海分院との連携・機能分担をしっかりと進め、南佐久郡の医療を守るように協力していく必要があると認識しています。
川西赤十字病院	病院	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化や人口減少の進展及び医師の働き方改革など、医療を取り巻く環境が変化する中で地域の救急医療体制の在り方を検討する。

【参考】令和4年度将来意向調査 — 地域(圏域)の課題と将来あるべき姿について 2/2 — (佐久医療圏)

- 任意回答でお答えいただいた内容は以下のとおり。
- 地域の課題としては、医師の働き方改革への対応(二次救急体制の維持に向けた医師確保)、各医療機関の役割・機能の最適化と連携強化などが挙げられている。
- あるべき姿としては、広大なエリアにおける適切な救急搬送体制が構築されていること、佐久医療センター等の基幹病院に急性期機能を集約し、後方支援病院に早期に転院・退院調整ができる体制が構築されていること、医療機関間の役割分担を推進し、地域住民が安心して暮らせる地域が構築されていることなどが挙げられている。

医療機関名	病診区分	地域(圏域)の課題と将来あるべき姿
くろさわ病院	病院	<p>・2025年に高齢化がより進む中で、どのように圏域の医療体制を維持するべきかが課題だと思います。現在、圏域内での病床の削減と機能転換を行えば、多くの民間医療機関の経営が成り立たなくなる可能性が生じます。ただ、高齢者人口も減っていく事が予測される近い未来は、治療する患者数も減り、地域内で患者の取り合いや医療機関で働く側の人口も減り従事者の取り合いが予測されます。地方自治体を含め公民協働で持続可能な医療体制を模索し続けるための総合的な支援が必要です。</p>
金澤病院	病院	<p>・地域医療の維持・確立に向けて、医療機関間の役割分担を互いの合意のもとに推進し、地域住民が安心して暮らせる地域の構築をする。</p>
国立病院機構小諸高原病院	病院	<p>・精神疾患においては、県内全域をカバーするように診療体制を構築しているが、救急要請への積極的な対応のためより設備の充実した「精神科救急入院料」の算定を目指し、重症心身障害児(者)については設備の更新によりQOLの向上を目指していく。</p>
雨宮病院	病院	<p>・団塊の世代を中心とする高齢化により、独居、老々介護等の問題が著名になっていることに対して、地域包括ケアの拠点として医療、介護を連携していき、また一次医療機関として機能して行く事。</p>
花岡レディースクリニック	診療所	<p>・総合病院でのダブルセットアップが望ましいと思われる状況があった場合、搬送先の総合病院でのコロナで病棟が満床になったり手術件数が多く緊急手術が対応しづらくなるなどの状況が起こると紹介しづらくなるため、コロナや手術などに左右されづらい総合病院があるとありがたい。</p>
柳橋脳神経外科	診療所	<p>・重症化した認知症の方々の処遇について、日々煩悶しております。特に強い精神症状のある方に対し、精神科専門病院の受け入れが不十分と感じており、行政にも対応をお願いできればと思っております。</p>

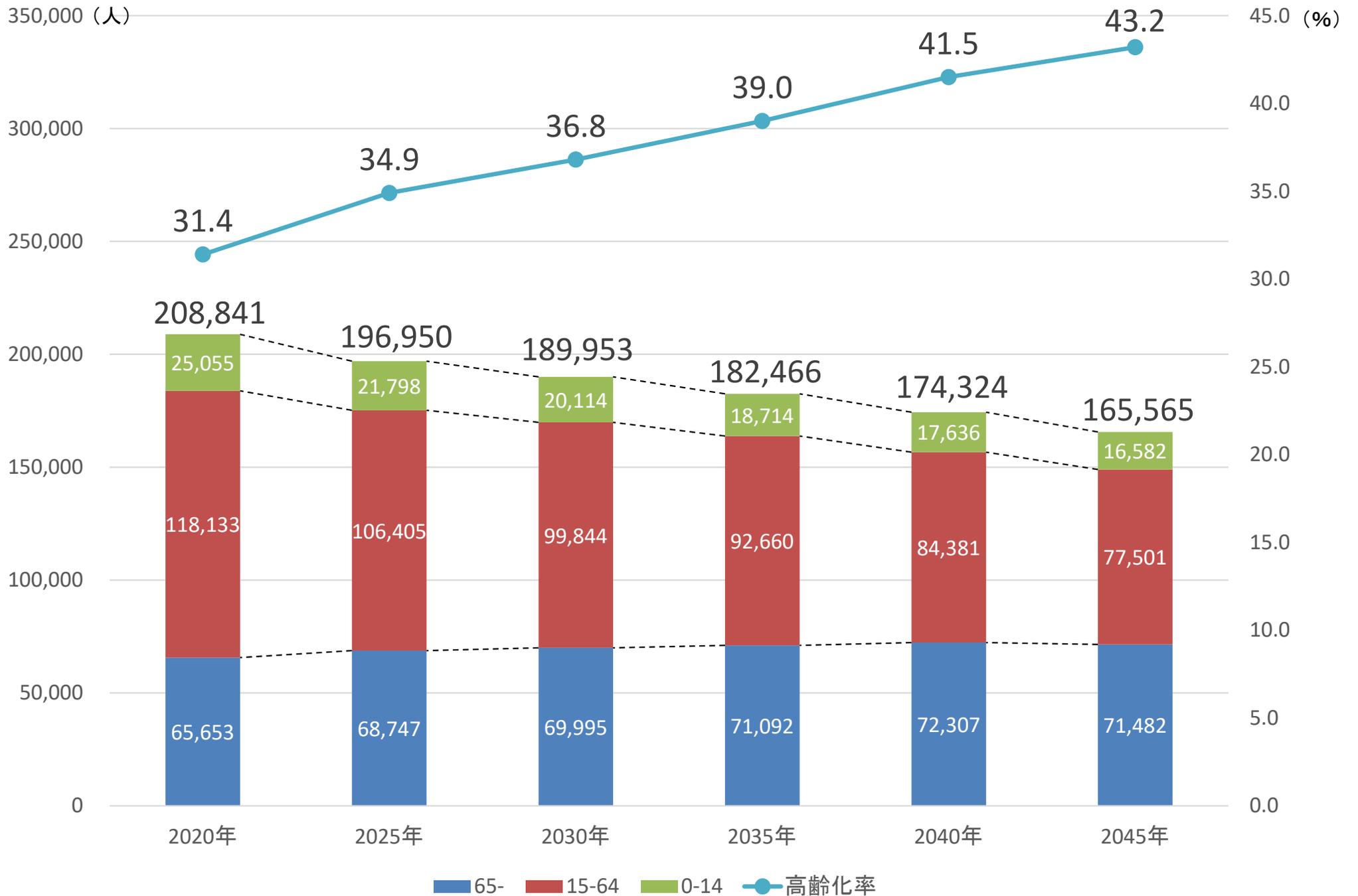
参考資料：佐久医療圏の医療提供体制の現状

佐久医療圏の基幹病院等の指定状況

- 佐久医療センターを各政策医療の基幹病院とし、救急医療体制は10病院で輪番体制を敷いている。
- また、佐久医療センターは、中小医療機関に対し医師派遣を行うことを主な機能とする地域医療人材拠点病院としての機能も担っている。
- 新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関については、9病院が担っている状況。

医療機関施設名	開設者区分	許可病床 (一般・療養)	拠点病院等の指定状況											
			地域医療 支援病院	地域医療 人材拠点 支援病院	救命救急 センター	病院群 輪番制 参加病院	災害拠点 病院	周産期 母子医療 センター	小児地域医 療センター (又は小児中 核病院)	へき地医療 拠点病院	がん診療連 携拠点病院 (地域がん診 療病院)	在宅療養 支援病院	在宅療養 支援診療所	新型コロナ 重点医療 機関等 (確保病床数)
			2021.7.1	2021.10.1										2022.5.26
佐久医療センター	公的	446	○	○	○		○	○	○		○			○(15)
国保浅間総合病院	公立	278				○				○		○		○(7)
こもろ医療センター	公的	246				○								○(9)
佐久総合病院	公的	239				○				○				○(12)
御代田中央記念病院	民間	158				○								
軽井沢病院	公立	103				○								○(2)
佐久総合病院小海分院	公的	99				○						○		○(1)
町立千曲病院	公立	97				○						○		○(2)
川西赤十字病院	公的	84				○						○		○(2)
くろさわ病院	民間	83				○						○		
金澤病院	民間	82				○								
小諸高原病院	公的	80												○(1)
小諸病院	民間	78												
雨宮病院	民間	54										○		
柳橋脳神経外科	民間	14											○	
花岡レディースクリニック	民間	13												
中澤眼科クリニック	民間	6												
博愛こばやし眼科	民間	3												

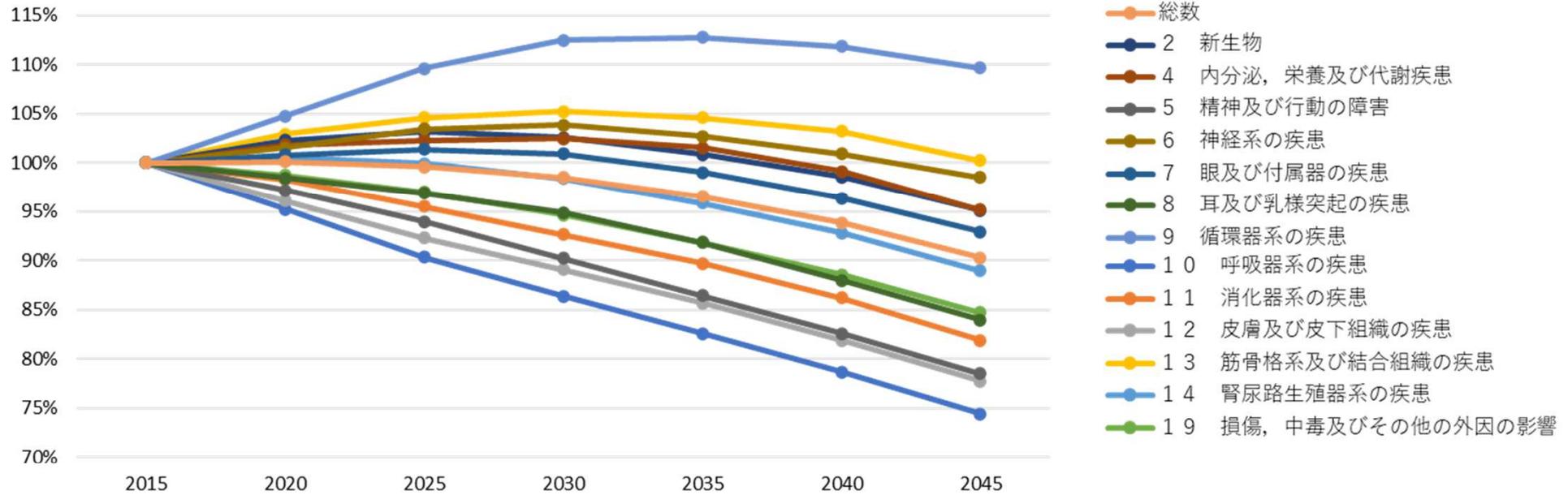
将来推計人口(佐久医療圏)



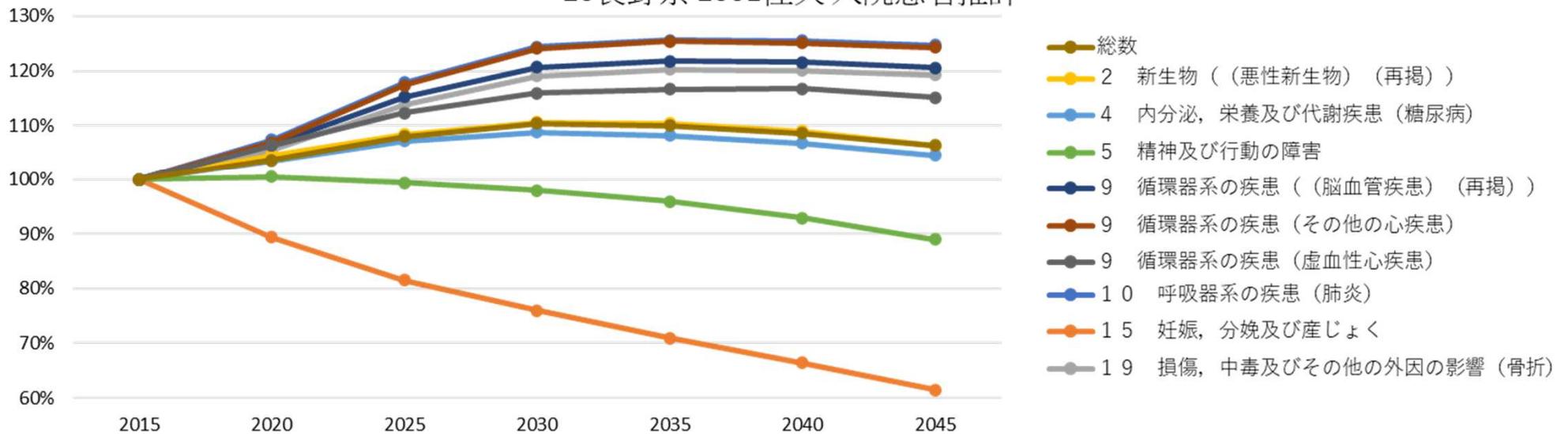
※国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)」及び2020年1月1日時点住民基本台帳人口を利用して推計。

疾患別の医療需要の推計(佐久医療圏)

20長野県 2001佐久 外来患者推計



20長野県 2001佐久 入院患者推計

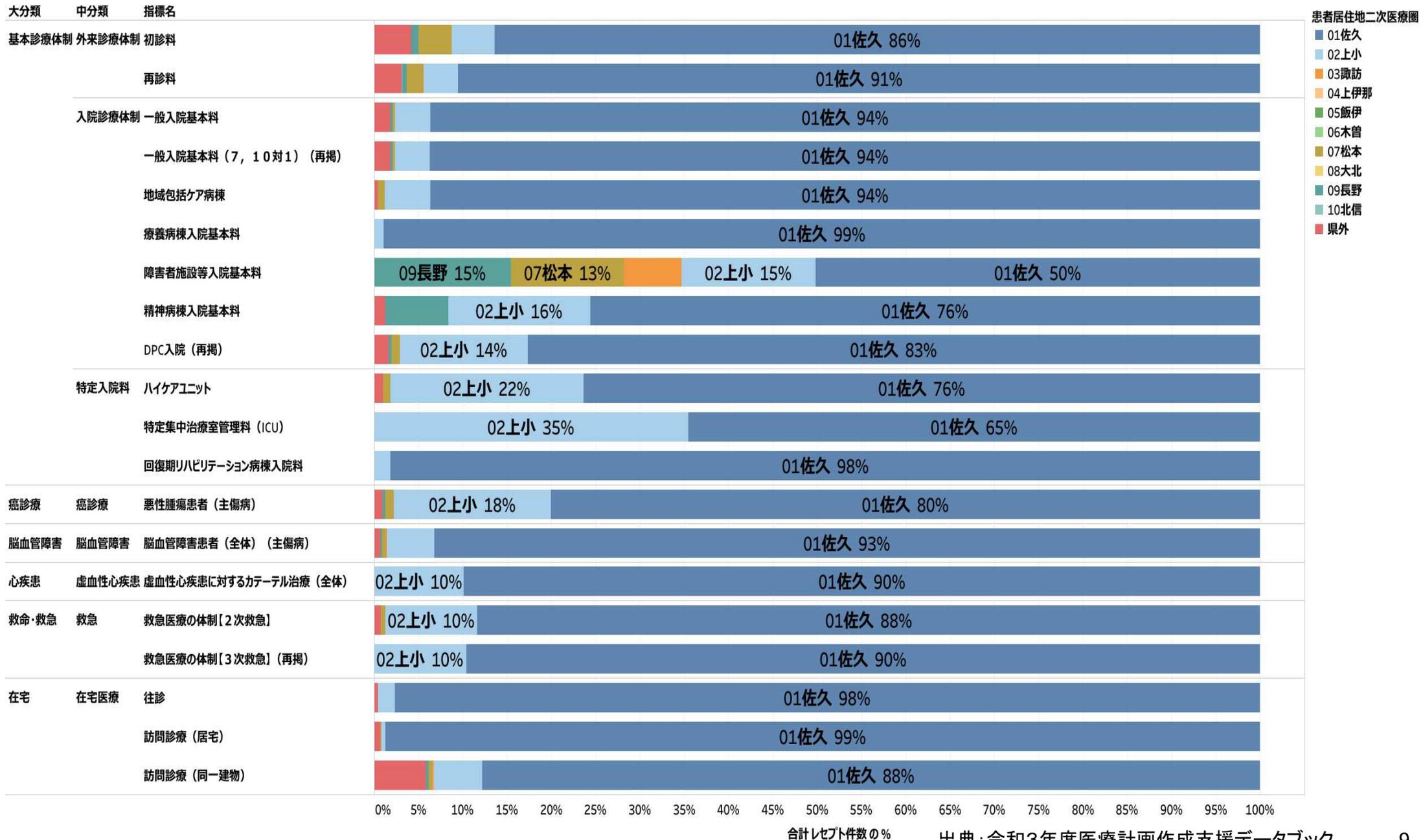


注) グラフは産業医科大学公衆衛生学教室「地域別人口変化分析ツールAJAPA」(※)により作成
 ※国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)」及び厚生労働省「平成29年患者調査」の統計データを利用

受療動向：患者の流入状況（佐久医療圏）

○ 佐久医療圏に所在する医療機関が、どの地域に居住する患者を診ているか（患者の流入）を分析。

※分析対象は、令和2年度における国民健康保険及び後期高齢者医療の被保険者分のレセプトデータ



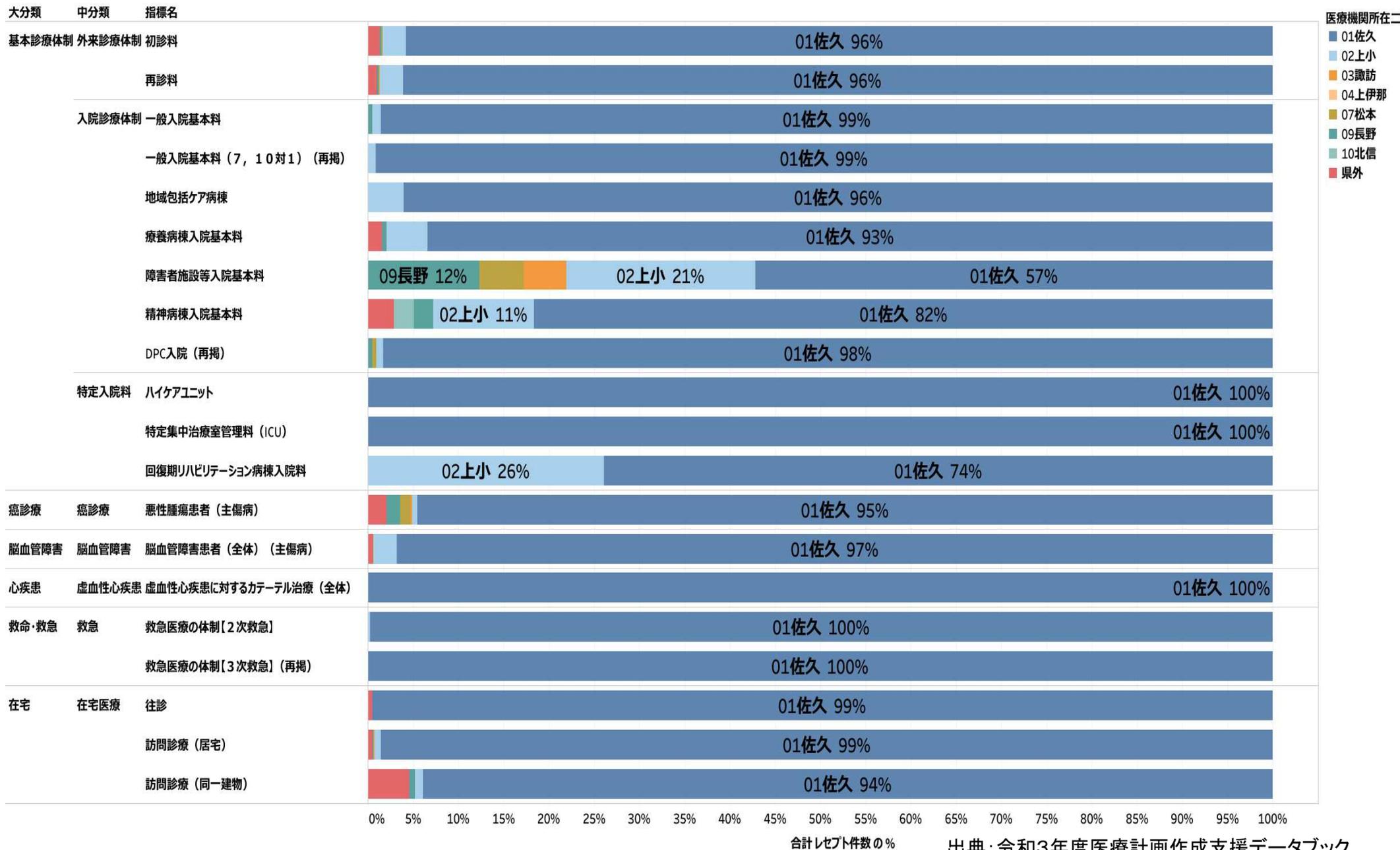
合計レセプト件数の%

出典：令和3年度医療計画作成支援データブック

受療動向：患者の流出状況（佐久医療圏）

○ 佐久医療圏に居住する患者が、どの地域の医療機関を受診しているか（患者の流出）を分析。

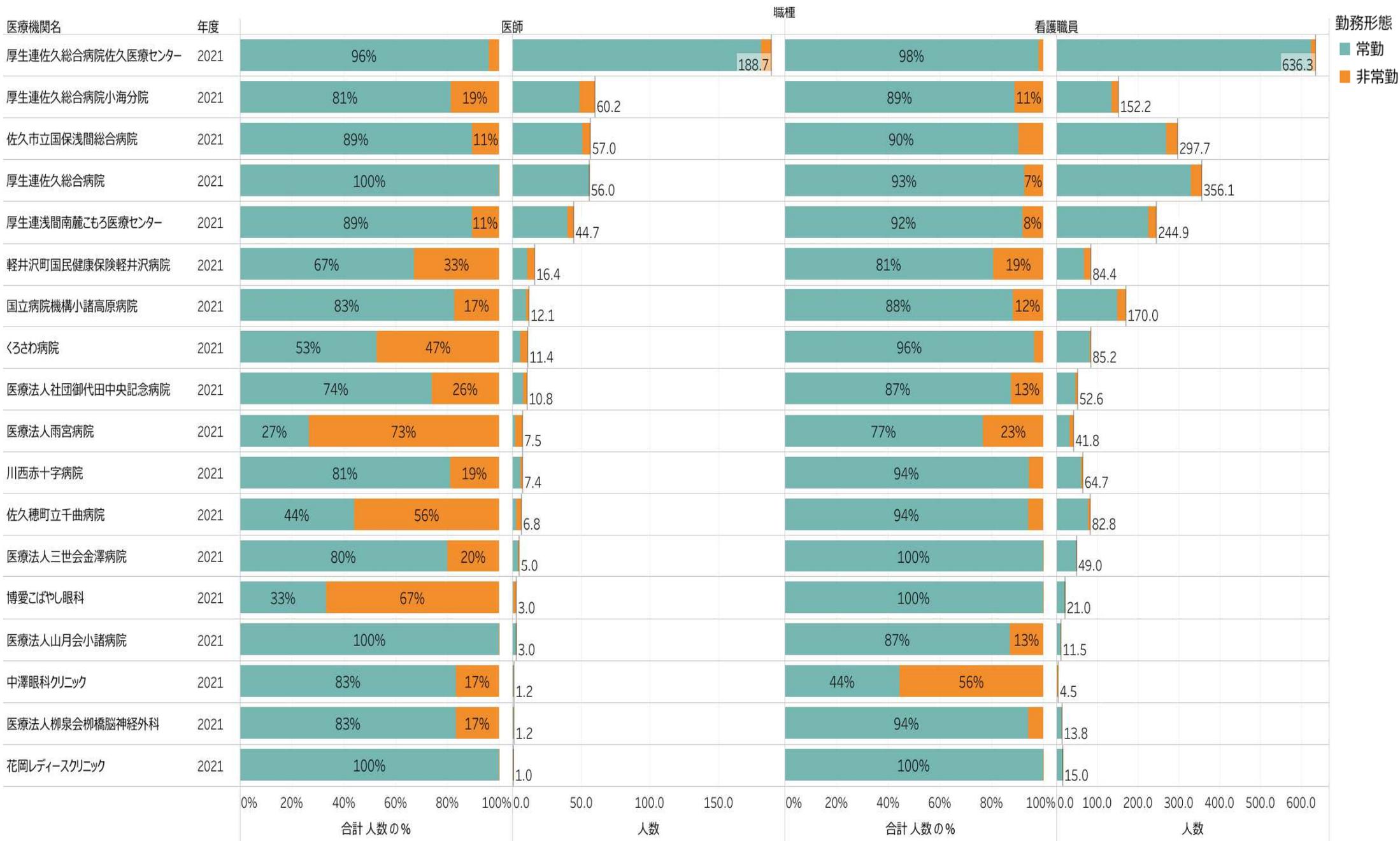
※分析対象は、令和2年度における国民健康保険及び後期高齢者医療の被保険者分のレセプトデータ



合計レセプト件数の%

出典：令和3年度医療計画作成支援データブック

有床医療機関における医師・看護職員の配置状況(佐久医療圏)



注)看護職員数は、看護師、准看護師、看護補助者の人数を集計

出典:令和3年度病床機能報告